

# 大地☆アメリカ☆の 心と自然を感じた二週間



～武雄市山内町姉妹都市アメリカ・セバストポール市 訪問滞在記～



去る3月22日から4月4日までの二週間、姉妹校である山内中学校の生徒16名、引率者4名、計20名は現地でのホームステイを通して、様々なことを肌で感じ学んできました。

アメリカ・セバストポール市は、人口約7800人、サンフランシスコから北へ車で約一時間半。りんごとぶどう畑が広がり、近年はワインの生産が盛んです。また緑豊かな落ち着いた街で、人々はとてもフレンドリーです。

ほとんどの中学生にとって初めての海外体験、しかも二週間もの間、親元を離れての各家庭一人ずつのホームステイ。最初は英語がうま

く話せず、戸惑っている生徒達でしたが、日が経つにつれて、笑顔がでてくるようになり、お別れの日には、涙、涙でした。

交流が始まり22年。今年もまたこの経験が、中学生にとって貴重な財産になりました。

この交流にご尽力いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

(H18年度セバストポール市訪問団

団長 北島 佳子他一同)



## 訪問に参加した生徒達の感想を、紹介いたします。

- 生まれて初めて、飛行機に乗った。興奮・喜び・希望がこみ上げてきた。
- 一生アメリカの食べ物で過ごす、体に悪そう。食生活は日本のほうがバランスがあつていい。
- “いちご” が二倍くらい大きかったけど、日本のいちごのほうが甘い。
- ウェルカムパーティから帰った後、ホストがずっと「ソーラン・ソーラン…」と歌っていた。
- 学校内ではスリッパに履きかえることもなく、しかもメイク&お菓子OK！
- アメリカの人は、どんな時もきちんと相手の人の“目”を見て話していた。どんな言葉でもこれは大事だと、気付いたので、日本に帰った今も心がけている。
- 中学一年生の英語でも、かなり役に立ちました！
- 日本に帰ってきた時、周囲の色々な文字や言葉が読めて嬉しかった。
- みんなでお祝いしてもらった、サプライズ誕生会は、一生忘れられない、いい思い出だ。
- 何もかもがBigサイズで、ハンバーガーとポテトが好きな僕は嬉しかった。
- 日本では、食事が済んだら部屋にこもりっきり…なんてことも多かったので、家族との接し方について考えさせられました。
- 来年の春の再会が、待ち遠しい。
- 本当にみんな優しくて温かい家族だった。ホストが日本に来たときは、自分がしてもらったように、沢山のことをしてあげたい。
- 何より、このような機会を与えてくれた両親に、感謝している。「ありがとう！」
- 将来、自分でお金をためて、またセバストポールに行きたい。
- 協力していただいた方々に本当に感謝している。この経験を今後の人生に活かしたい。



来年の3月下旬には、今度はセバストポールからの訪問団が、山内・武雄市を訪れます。内輪だけの交流で終わらないように、より多くの市民の皆様とこの感動を分かち合いたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(やまうちワールドフレンズ協議会会長 福田昭子 他一同)

国際交流に関する問合せ：武雄市企画課 電話 23-9325 担当：大野



担当 大野